

平成 28 年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■ 自主研究 5	公益目的事業 16
主査名	福田大輔 ・ 東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻 准教授	
研究テーマ	旅行時間信頼性の経済評価方法論の展開	
研究の目的： 本研究では、旅行時間信頼性の経済評価を行うための方法論について、理論的・実証的観点から総合的に検討することを目的とする。本年度は、特に、以下の細目について集中的に取り組む。 (1)長期広範囲プローブデータモニタリングに基づく面的な時間信頼性指標の構築 (2)旅行時間信頼性の統計物理分析 (3)時刻表ベースの交通機関（バス等）を念頭に置いた利用者行動モデリング 研究の経過（4月～9月）： (1)に関連して、ネットワークレベルでの旅行時間信頼性を評価するための指標を提案し、民間プローブデータを基に作成した仮想 ETC2.0 データを用いたケーススタディーを行った。また、複数の市区におけるエリアレベルの分析、及び、複数路線におけるコリドーレベルのケーススタディーを通じて、算出された旅行時間信頼性評価指標に一定程度の妥当性があることを確認した。 (2)に関連して、主に経済物理分野の交通関連ビッグデータ解析の文献レビューを行った。 (3)に関連して、駅間走行・駅停車等の要素別に遅延の生じやすさ等を定量的に評価することを企図し、東京メトロ東西線の長期(約 2 年)の秒単位車両運行実績データを用いて、列車遅延現象の確率的特性の基礎統計分析を行った。 下期へ向けて（課題等）： 研究は順調に遂行されていると思われる。 研究メンバー（敬称略）： 福田大輔（主査・東京工業大学）兵藤哲朗（東京海洋大学）岩倉成志（芝浦工業大学）野中康宏（道路計画）石田貴志（道路計画）土谷和之（三菱総合研究所）牧浩太郎（三菱総合研究所）		